

【資料1】 令和7年度学校評価

- 校務分掌部の反省
 - ・ 学期ごと
 - ・ 年度ごと
- 児童生徒の実態
 - ・ 各種検査の結果
 - ・ 日常の様子
- 保護者・地域の意見
- その他

令和7(2025)年度
日向市立東郷学園・坪谷小学校
小中一貫教育グランドデザイン

- 学校評価
- アンケートの結果
 - ・ 児童生徒
 - ・ 保護者
 - 学校の自己評価・改善策
 - 学校運営協議会委員の意見

目標	知 (進路学習部)	徳 (生徒指導部)	体 (保体安全部)	地域 (教務研究部)
	■ 学習指導や読書の推進を通して、読む力と豊かな心を育てます。	■ 自己有用感をもった児童生徒を育てます。	■ 自他の命を大切にできる児童生徒を育てます。	■ 家庭・地域と目標を共有し、郷育を推進します。
具体的取組	1 読書の習慣化を図り、自分の考え方をわかりやすく伝える力を育てます。 ① 朝読書の取組 (1～8年) ② 毎日読書の推進 ③ 読書通帳の活用 2 家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ力を育てます。 ④ 学習の見届け ⑤ 「みんなく」(みんなで宅習を見守ろう)の取組 3 学習訓練の徹底を図り、学ぶ姿勢を育てます。 ⑥ 「学習の約束」の徹底 (1分目着席・立腰)	1 身なりを整え、あいさつができ、無言清掃を行う児童生徒を育てます。 ① 児童生徒自身で身なりを整える習慣の整備 ② 先取りあいさつ運動の励行 ③ 清掃活動を通したきれいな学校づくりの推進 2 時間を大切にする児童生徒を育てます。 ④ 学校生活における開始時刻の意識の徹底	1 体力向上に関する取組や食育を通して、たくましい体づくりに努める児童生徒を育てます。 ① スクールスポーツプランの作成・実践 ② 食に関する指導全体計画の実践 2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メディアコントロール」等に取り組み、健康の保持・増進に努める児童生徒を育てます。 ③ 健康カレンダーの作成・実践 ④ 家庭と連携したメディアコントロールの取組	1 地域と連携しながら、あいさつ運動・安全教育を実施します。 ① まちづくり協議会と連携したあいさつ標語作成 ② いのちの教育週間、人権週間、若竹集会を活用したいのちを大切に取る取組 2 地域の素材・人材を生かした体験活動及びキャリア教育を実施します。 ③ 生活科や総合的な学習の時間を中心とした積極的な体験活動の実施 ④ 出前授業・よのなか教室の実施
結果	① 朝読書は、小学部は月、金。中学部は月、水、木、金に行っている。 ② 読書通帳は、活用している学年とそうではない学年がある。 ③ 学校は、見届けを行っている。家庭により取組の差がある。 ⑤ 「学習の約束」については、全校集会で周知し、各学年で指導を行った。	① 児童生徒会を中心に設定した服装規定を順守している。 ② 挨拶をすることへの意識は高く、先取りあいさつが定着してきている。 ③ 無言清掃や気付きの清掃を実践できている。少ない人数の中で、自分の担当場所を児童生徒が責任をもってきれいにできている。 ④ 授業開始1分前の黙想や清掃活動、集会への移動など、時間を意識して行動できている。	① スクールスポーツプランを作成し、体力向上に関する目標を設定して取り組んだが、昨年度と結果はほぼ横ばいだった。体力テストの下位判定が減ったことに加えて、持久力の向上が見られた。 ② 栄養教諭と連携した食育は小中ともに行っているが、特に中学部生徒に実感として身につけていないようだった。 ③ げんきカード(生活習慣カード・小中)、歯みがきカード(小)を行った。虫歯治療率は52%(小)、100%(中)である。保育園と連携して歯みがき習慣を幼保期から身につけさせていきたい。 ④ 今年度も定期的にメディアコントロールをしている。便りも出して啓発をした。学校保健委員会で、メディアに関する講演をした。しかしメディアに取組まない家庭も多々ある。	① 挨拶標語作成に取り組んだことで、児童生徒が挨拶について考える機会となった。また、全体的には、挨拶を意識して行う児童生徒が多い。 ② 命について考える集会や週間を設け、呼びかけ等を行ったことで、命の大切さや交通安全に対する意識の向上を図れた。 ③ 年間計画に沿って、各学年とも地域人材を生かした体験活動を実施することができた。 ④ どの学年も計画通りに実践できた。総合的な学習の時間のまとめとして、学習発表会を行い、学校運営協議会の方、社会体験受け入れ企業の方から高い評価を受けた。
	② 読書通帳の活用と担任の声かけやしかけが必要 ⑤ 3学期に「みんなく」を実施する。	① 小中のつながりとして、6年生の3学期になったら、中学部の服装規定等を示し、中学部での校則を意識させていくことも考えられる。 ② 家庭及び地域でも挨拶をするよう継続的に指導を行っていく。 ③ 清掃の仕方の個別指導を行っていく。 ④ 時間を意識した指導だけでなく、提出物の期限を守ることな	④ メディアコントロールの啓発をしているが、なかなか児童生徒と家庭内の意識が変わらない。また児童生徒質問事項⑩「長時間」について具体的に数字を示せるとよい。	② 引き続き、いのちを大切に取る取り組みを日常的に行っていきたい。

		ども含めて指導の充実を図っていく。	
--	--	-------------------	--

評価	A (A:2 B:4 C:0)	B (A:4 B:2 C:0)	C (A:1 B:5 C:0)	A (A:3 B:3 C:0)
学校運営協議会委員より	<ul style="list-style-type: none"> 読書の習慣化に対する取組みは評価できる(2)が、なかなか向上しない。 学習訓練の徹底は、学校・保護者共に頑張っている。 読書量を増やすための具体的な手立ての実践が6割未満の結果が気になる。 読書通帳の目的とその活用に温度差がある。 「みんなく」の取り組み内容を知りたい。 朝読書の時間が毎日少しでも本に触れることで読書が当たり前になっていけば素晴らしいと思う。 家庭学習もほぼ良好である。 キャリア教育や学校外での交流活動、専門家を招いての学習など、学校の先生以外の学習にも取り組みをお願いしたい。 子どもたちだけでなく、大人も活字離れしている人が多いのではないかな？ 社会はSNSなどへの依存症に陥っているのではないかな？ 子ども達だけでなく、大人も一緒に本(活字)に親しむ時間を設けたら良いと思う。 読書について、学校での取り組みだけでなく、休日等に家庭での読書(親子で)習慣がつくとよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつについては大変良くなっている。 どの項目も努力の成果が見られる。 あいさつ運動への取組には高く評価できる。特に中学生の行動が模範となっていると考えられる。 変形学生服等を着用している生徒もいない。 学校にいつ行っても清掃が行き届いている。 あいさつは良好であるが、地域の人から返答がないことがあったと聞くが、気にせず挨拶するように指導した。 あいさつの声が小さい。 中学生のあいさつはとても良い。明かり笑顔、大きな声で先取りあいさつができる。反面、小学生は自分から先にあいさつできる子どもは少なく返す挨拶もうつむき加減で元気がない。 地域の方が児童の方から先取りあいさつをしてくれ、元気をもらったと聞きました。小学部の方も先取りあいさつが定着しつつあると思う。 小学生の中にはあいさつの声が小さく、あいさつをしているのかしていないのか分からない子が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 命を守る意識については、高い評価ができる。(2) 体力向上プランについても学校の指導の努力が見られる。 健康増進の中のメディアコントロール等には、保護者と一体となった取り組みの検討が必要。 中学生のほとんどがスマホを持っているようで、メディアコントロールが一番の課題だと思うが、なかなか難しい問題だと思う。 体力向上につとめている。 食べ物の好き嫌いが心配である。特に野菜嫌い。 子ども達のYouTube視聴が地域の人たちとの会話で話題になった。 YouTubeを見る時間が長く、注意しても言うことを聞かない。我が家の孫も長時間テレビの前にいるが、見ないと学校での話題に入らず仲間外れになるという。 メディアコントロールは、家庭、学校が一体となってもっと積極的に取り組む必要性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に保護者の理解が足りないのではないかな。 地域での差があるのではないかな。 学校以外の地域資源を活用した活動の展開は概ねできている。 グランドデザインを共有する必要があるのは誰なのかを運営委員も含め改めて考える必要あり。 地域の祭り(白太鼓)、敬老会、盆踊りなどへの参加は良好である。 回覧板で学校便りが回ってくるがすばらしい。 グランドデザインも回覧板を利用して周知徹底を図ってほしい。 生徒会とまちづくり協議会との意見交換会でボランティアとして地域活動に参加したという意見が出た。 つつじ祭りの野点、カモミール収穫体験、夏祭りの屋台村出店など、ボランティアを募集しているので、参加できるようまちづくり協議会でも検討している。 地域学校協働活動等の研修を受けるたびに東郷学園はすでに取り組んでいる活動がほとんどだと思っています。又、総合的な学習の時間等で生徒が地域の課題発見から提案まで行うことは地域課題解決につながる意義深い取組だと思います。

今後の具体的な取組	<p>1 読書の習慣化を図り、自分の考え方をわかりやすく伝える力を育てます。</p> <p>① 図書司書の先生に、学年ごとの図書の本貸し出し冊数を月ごとに出してもらおう。</p> <p>② 学期末に学校通信等で読書量を数字で公表し、保護者にも周知する。</p>	<p>1 身なりを整え、あいさつができ、無言清掃を行う児童生徒を育てます。</p> <p>① 小学生については、委員会活動や集会等を通して、あいさつを見本を見せて意識させ、習慣化していきたい。</p> <p>② 中学生については、さらによりあいさつができるよう声掛けをしていく。</p>	<p>1 体力向上に関する取組や食育を通してたくましい体づくりに努める児童生徒を育てます。</p> <p>① スクールスポーツプランの作成・実践</p> <p>② 食に関する指導全体計画の実践</p> <p>2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メディアコントロール」などの生活リズムを整え、健康の増進に努める児童生徒を育てます。</p> <p>③ 健康カレンダーの作成・定期的な実践</p> <p>④ 虫歯未治療の児童生徒への指導</p> <p>⑤ 家庭と連携したメディアコントロール週間の積極的な実施(来年度は期間を長く設定する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者への啓発 学習指導部に「家読の日」を設定してもらい、メディアコントロールの日を兼ねるのはどうか 	<p>1 地域と連携しながら、あいさつ運動・安全教育を実施します。</p> <p>① まちづくり協議会と連携したあいさつ標語作成</p> <p>② いのちの教育週間、人権週間、若竹集会を活用したいのちを大切に取る取組</p> <p>2 地域の素材・人材を生かした体験活動及びキャリア教育を実施します。</p> <p>③ 生活科や総合的な学習の時間を中心とした積極的な体験活動の実施</p> <p>④ 地域ボランティア参加の積極的な呼びかけ。</p>
-----------	--	---	--	--